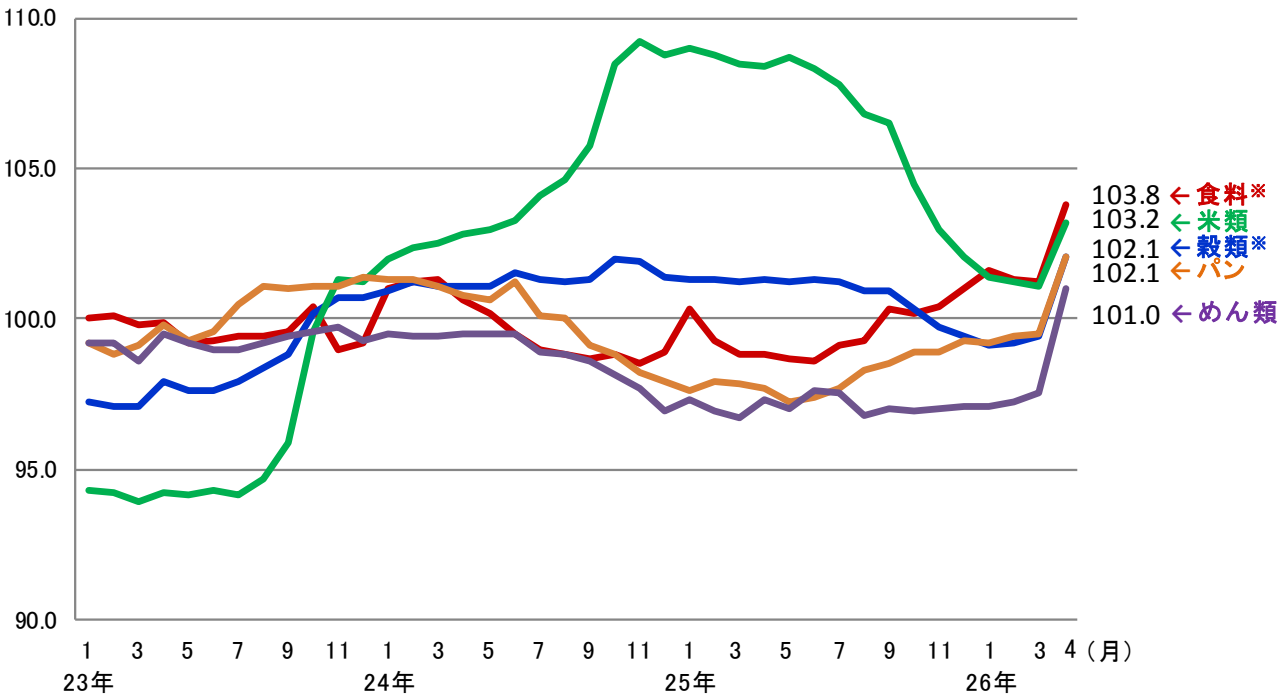


Ⅲ 小売・消費段階の動向

(1) 消費者物価指数の推移

(図) 消費者物価指数の推移



注： 1 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
2 図中の数値は、平成26年4月の消費者物価指数となる。
3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

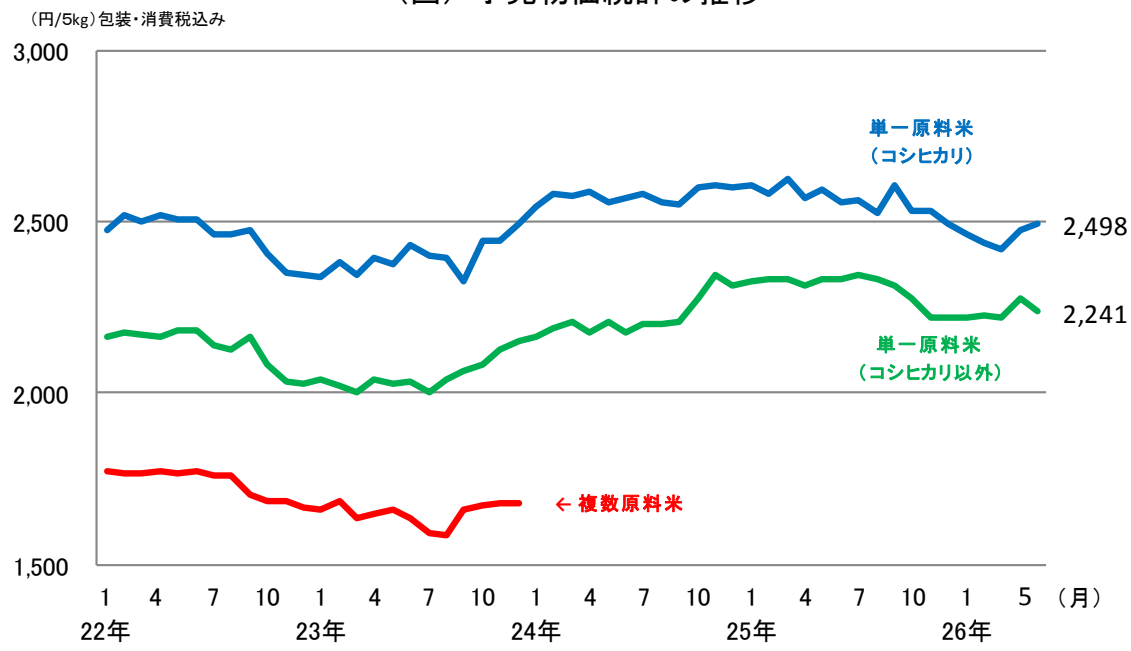
(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成25年1月	100.3	▲0.7%	101.3	0.4%	109.0	6.9%	109.6	7.1%	97.6	▲3.7%	97.3	▲2.2%
2月	99.3	▲1.9%	101.3	0.1%	108.8	6.3%	109.3	6.4%	97.9	▲3.4%	96.9	▲2.5%
3月	98.8	▲2.5%	101.2	0.1%	108.5	5.9%	109.1	6.1%	97.8	▲3.3%	96.7	▲2.7%
4月	98.8	▲1.8%	101.3	0.2%	108.4	5.4%	108.9	5.7%	97.7	▲3.1%	97.3	▲2.2%
5月	98.7	▲1.5%	101.2	0.1%	108.7	5.5%	109.2	5.8%	97.2	▲3.4%	97.0	▲2.5%
6月	98.6	▲0.9%	101.3	▲0.2%	108.3	4.8%	108.8	5.0%	97.4	▲3.8%	97.6	▲1.9%
7月	99.1	0.1%	101.2	▲0.1%	107.8	3.6%	108.3	3.7%	97.7	▲2.4%	97.5	▲1.4%
8月	99.3	0.5%	100.9	▲0.3%	106.8	2.1%	107.3	2.3%	98.3	▲1.7%	96.8	▲2.0%
9月	100.3	1.6%	100.9	▲0.4%	106.5	0.7%	107.0	0.7%	98.5	▲0.6%	97.0	▲1.6%
10月	100.2	1.4%	100.3	▲1.7%	104.5	▲3.7%	104.8	▲3.9%	98.9	0.1%	96.9	▲1.2%
11月	100.4	1.9%	99.7	▲2.2%	103.0	▲5.7%	103.3	▲5.8%	98.9	0.7%	97.0	▲0.7%
12月	101.0	2.1%	99.4	▲2.0%	102.1	▲6.2%	102.5	▲6.4%	99.3	1.4%	97.1	0.2%
平成26年1月	101.6	1.3%	99.1	▲2.2%	101.4	▲7.0%	101.7	▲7.2%	99.2	1.6%	97.1	▲0.2%
2月	101.3	2.0%	99.2	▲2.1%	101.2	▲7.0%	101.3	▲7.3%	99.4	1.5%	97.2	0.3%
3月	101.2	2.4%	99.4	▲1.8%	101.1	▲6.8%	101.3	▲7.1%	99.5	1.7%	97.5	0.8%
4月	103.8	5.1%	102.1	0.8%	103.2	▲4.8%	103.3	▲5.1%	102.1	4.5%	101.0	3.8%

資料： 総務省「消費者物価指数」（平成22年基準）
注： 1 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
4 平成17年から平成25年のデータは年平均、平成25年1月以降は月次データを用いている。

(2) 小売物価統計の推移

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

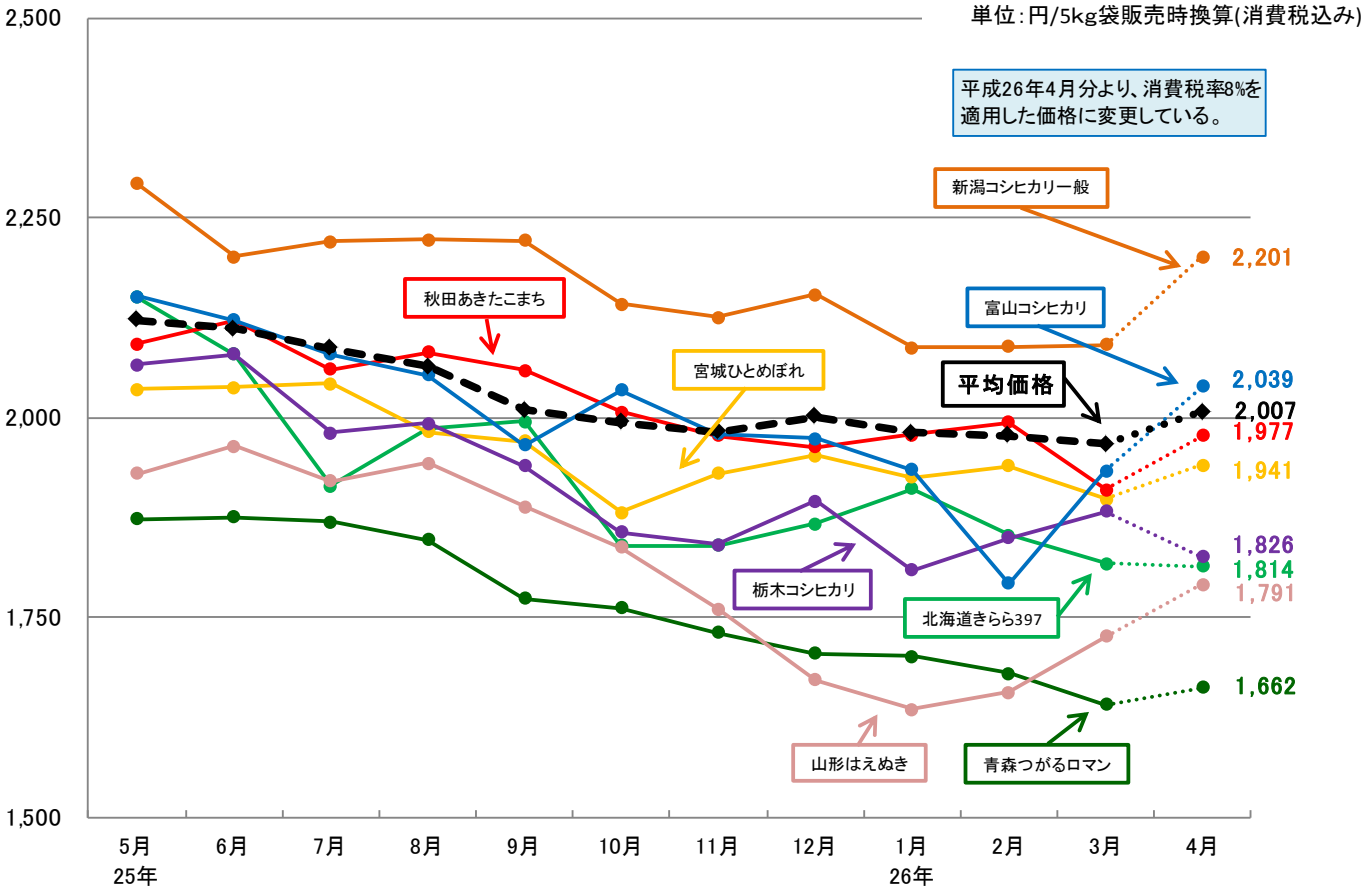
(単位: 円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成24年	2,577	2,223	—
平成25年	2,567	2,307	—
平成25年1月	2,608	2,330	—
2月	2,585	2,336	—
3月	2,627	2,331	—
4月	2,573	2,313	—
5月	2,593	2,331	—
6月	2,559	2,331	—
7月	2,566	2,347	—
8月	2,530	2,333	—
9月	2,609	2,313	—
10月	2,532	2,276	—
11月	2,532	2,224	—
12月	2,496	2,223	—
平成26年1月	2,466	2,223	—
2月	2,440	2,228	—
3月	2,422	2,221	—
4月	2,474	2,276	—
5月	2,498	2,241	—

資料：総務省「小売物価統計」
注1：東京都区部の数値である。
2：特売を除いた価格である。
3：精米ベースである。
4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

(3) 小売価格の推移 (POSデータ)

(図)小売価格の推移



(表)小売価格の推移

単位: 円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄								
	北海道 きらら397	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
25年5月	2,150	1,873	2,036	2,093	1,930	2,066	2,293	2,152	2,122
6月	2,079	1,876	2,038	2,121	1,964	2,079	2,201	2,122	2,111
7月	1,915	1,869	2,043	2,060	1,921	1,981	2,220	2,080	2,086
8月	1,986	1,847	1,982	2,082	1,943	1,993	2,223	2,053	2,064
9月	1,995	1,773	1,970	2,059	1,889	1,940	2,222	1,966	2,009
10月	1,840	1,762	1,882	2,007	1,838	1,856	2,142	2,034	1,994
11月	1,840	1,731	1,930	1,978	1,760	1,841	2,126	1,980	1,982
12月	1,867	1,705	1,953	1,963	1,672	1,896	2,154	1,974	2,001
26年1月	1,911	1,701	1,925	1,979	1,635	1,809	2,088	1,935	1,981
2月	1,853	1,680	1,940	1,994	1,656	1,849	2,089	1,793	1,978
3月	1,818	1,641	1,898	1,910	1,727	1,882	2,091	1,933	1,967
4月	1,814	1,662	1,941	1,977	1,791	1,826	2,201	2,039	2,007

資料: (株) KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注: 1 (株) KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約880店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

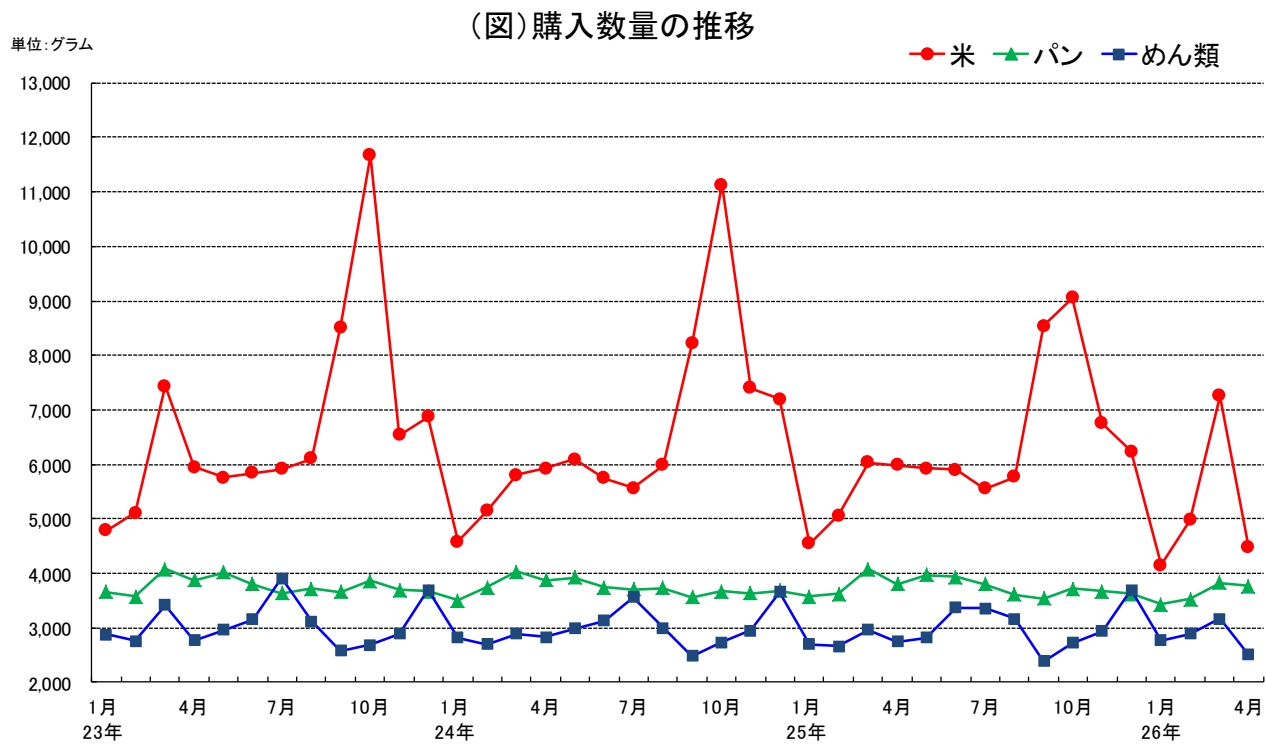
2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 平成26年4月分から、消費税率8%を適用した価格に変更している。

(4) 購入数量の推移(家計調査)



(表)購入数量の推移 (単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成25年1月	4,550	99.3%	3,572	101.9%	2,695	95.5%
2月	5,060	98.3%	3,625	96.8%	2,665	98.7%
3月	6,030	103.8%	4,076	101.0%	2,965	102.6%
4月	5,980	100.8%	3,802	98.2%	2,752	97.2%
5月	5,920	97.2%	3,972	101.4%	2,816	94.3%
6月	5,900	102.6%	3,929	105.0%	3,365	107.4%
7月	5,550	99.8%	3,803	102.7%	3,363	94.5%
8月	5,770	96.3%	3,607	96.5%	3,164	105.6%
9月	8,540	103.9%	3,536	99.2%	2,391	96.5%
10月	9,060	81.4%	3,721	101.2%	2,722	99.4%
11月	6,750	91.2%	3,672	100.9%	2,940	99.5%
12月	6,240	86.8%	3,620	98.2%	3,696	101.1%
平成26年1月	4,150	91.2%	3,427	95.9%	2,767	102.7%
2月	4,980	98.4%	3,531	97.4%	2,889	108.4%
3月	7,260	120.4%	3,828	93.9%	3,166	106.8%
4月	4,470	74.7%	3,772	99.2%	2,503	91.0%

資料： 総務省「家計調査」
注： 1 二人以上の世帯の数値である。
2 平成20年から平成25年については、年間の購入数量を示す。
3 精米ベースである。

(5) 米の消費動向（米穀機構による調査）

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

（上段：対前年同月比、下段：実数（精米g/人））

	平成24年10月		平成24年11月		平成24年12月		平成25年1月		平成25年2月		平成25年3月	
		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳
合計	+3.1%	4,931	100.0%	+1.2%	4,916	100.0%	+6.9%	4,914	100.0%	+1.8%	4,746	100.0%
家庭内	+5.9%	3,420	69.4%	+4.8%	3,406	69.3%	+13.5%	3,384	68.9%	+7.2%	3,318	69.9%
中・外食	▲2.8%	1,511	30.6%	▲5.9%	1,510	30.7%	▲5.2%	1,530	31.1%	▲8.8%	1,429	30.1%
中食	▲2.1%	873	17.7%	▲5.1%	857	17.4%	▲1.5%	877	17.8%	▲1.5%	836	17.6%
外食	▲3.6%	638	12.9%	▲7.1%	652	13.3%	▲9.7%	654	13.3%	▲17.5%	592	12.5%
	平成25年4月		平成25年5月		平成25年6月		平成25年7月		平成25年8月		平成25年9月	
		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳
合計	▲11.4%	4,779	100.0%	▲10.4%	4,574	100.0%	▲10.9%	4,575	100.0%	▲8.7%	4,373	100.0%
家庭内	▲13.0%	3,169	66.3%	▲9.0%	3,086	67.5%	▲11.5%	3,048	66.6%	▲8.9%	2,889	66.1%
中・外食	▲8.2%	1,610	33.7%	▲13.1%	1,489	32.6%	▲9.6%	1,527	33.4%	▲8.2%	1,485	34.0%
中食	▲7.8%	931	19.5%	▲10.8%	881	19.3%	▲11.1%	893	19.5%	▲8.4%	863	19.7%
外食	▲8.7%	679	14.2%	▲16.1%	608	13.3%	▲7.6%	634	13.9%	▲8.0%	622	14.2%
	平成25年10月		平成25年11月		平成25年12月		平成26年1月		平成26年2月		平成26年3月	
		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳
合計	▲8.2%	4,528	100.0%	▲9.6%	4,443	100.0%	▲11.2%	4,363	100.0%	▲7.4%	4,396	100.0%
家庭内	▲10.9%	3,048	67.3%	▲12.7%	2,972	66.9%	▲15.4%	2,863	65.6%	▲10.3%	2,977	67.7%
中・外食	▲2.0%	1,481	32.7%	▲2.6%	1,471	33.1%	▲2.0%	1,500	34.4%	▲0.7%	1,419	32.3%
中食	▲0.8%	866	19.1%	▲3.3%	829	18.7%	▲3.1%	850	19.5%	▲1.6%	823	18.7%
外食	▲3.6%	615	13.6%	▲1.4%	643	14.5%	▲0.8%	649	14.9%	+0.7%	596	13.6%
	平成26年4月											
		内訳										
合計	+4.3%	4,986	100%									
家庭内	+11.4%	3,529	70.8%									
中・外食	▲9.5%	1,457	29.2%									
中食	▲7.1%	865	17.3%									
外食	▲12.8%	592	11.9%									

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 26年4月分の有効調査世帯数は2,442。

- 2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握。家庭外消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯類の概量から推計。
- 3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。
- 4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年度	0.7	45.9	3.7	4.2	0.4	8.6	1.4	3.8	1.3	6.8	6.4	23.5	2.2
平成24年度	1.0	45.1	4.3	3.4	0.3	7.8	1.8	4.2	1.8	7.0	7.4	22.9	2.0
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年4月	1.2	47.5	4.5	3.9	0.7	7.6	1.6	3.7	1.6	7.8	6.4	18.6	1.9

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23・24・25年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 26年4月分の有効調査世帯数は1,204。

(イ) 入手経路別の購入数量

	25年8月(n=1573)			25年9月(n=1568)			25年10月(n=1785)			25年11月(n=1635)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	85	0.5	8.3	62	0.4	7.2	127	0.7	9.3	48	0.3	5.9
スーパーマーケット	6,161	38.1	8.1	6,079	37.7	7.9	6,396	33.8	8.0	5,676	33.4	8.1
ドラッグストア	417	2.6	8.0	456	2.8	7.2	398	2.1	8.7	418	2.5	7.3
ディスカウントストア	332	2.1	10.0	294	1.8	9.1	296	1.6	7.8	469	2.8	10.3
コンビニエンスストア	15	0.1	2.4	4	0.02	0.9	12	0.1	4.4	16	0.1	5.4
生協(店舗・共同購入含む)	934	5.8	7.9	845	5.2	8.5	847	4.5	7.1	755	4.4	7.8
農協(店舗・共同購入含む)	322	2.0	11.6	269	1.7	10.0	291	1.5	12.3	285	1.7	11.6
米穀専門店	689	4.3	9.5	755	4.7	10.8	529	2.8	9.0	567	3.3	10.7
産地直売所	285	1.8	9.5	178	1.1	7.5	285	1.5	8.0	482	2.8	9.8
生産者から直接購入	2,143	13.3	20.9	2,209	13.7	22.1	2,920	15.5	21.8	2,305	13.6	17.6
インターネットショップ	1,446	9.0	11.5	1,544	9.6	10.6	2,091	11.1	10.7	1,875	11.0	10.3
家族・知人などから無償で入手	3,323	20.6	10.1	3,426	21.3	9.6	4,702	24.9	10.0	4,112	24.2	10.2

	25年12月(n=1508)			26年1月(n=1692)			26年2月(n=1631)			26年3月(n=1678)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	92	0.6	5.6	72	0.4	6.8	131	0.8	6.0	66	0.3	6.9
スーパーマーケット	5,670	36.8	8.3	5,860	35.3	7.6	6,152	37.8	8.2	7,719	40.1	9.6
ドラッグストア	456	3.0	9.4	394	2.4	7.3	506	3.1	7.1	682	3.5	9.5
ディスカウントストア	356	2.3	10.9	417	2.5	9.1	427	2.6	8.3	756	3.9	11.2
コンビニエンスストア	27	0.2	3.9	25	0.1	5.3	22	0.1	5.7	20	0.1	7.7
生協(店舗・共同購入含む)	872	5.7	7.9	860	5.2	8.0	917	5.6	7.5	1,046	5.4	9.2
農協(店舗・共同購入含む)	236	1.5	11.0	281	1.7	10.1	321	2.0	9.7	326	1.7	11.4
米穀専門店	458	3.0	9.1	539	3.2	9.8	471	2.9	9.4	576	3.0	12.7
産地直売所	316	2.0	10.4	224	1.4	9.8	215	1.3	9.8	340	1.8	9.0
生産者から直接購入	1,943	12.6	18.1	2,260	13.6	18.6	2,424	14.9	19.8	1,971	10.2	18.9
インターネットショップ	1,479	9.6	10.3	1,672	10.1	9.4	1,638	10.1	9.5	2,636	13.7	12.3
家族・知人などから無償で入手	3,502	22.7	10.0	3,981	24.0	10.2	3,033	18.7	9.4	3,119	16.2	10.4

	26年4月(n=1204)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	72	0.6	4.8
スーパーマーケット	4,529	36.5	8.0
ドラッグストア	576	4.6	10.6
ディスカウントストア	405	3.3	8.6
コンビニエンスストア	359	2.9	7.7
生協(店舗・共同購入含む)	443	3.6	8.2
農協(店舗・共同購入含む)	218	1.8	11.3
米穀専門店	565	4.6	12.6
産地直売所	215	1.7	11.0
生産者から直接購入	1,839	14.8	19.6
インターネットショップ	931	7.5	12.0
家族・知人などから無償で入手	2,247	18.1	10.0

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：世帯平均購入数量は、精米を購入した世帯の平均購入数量である。

(ウ) 重視する点(複数回答)

(%)

	産地	品種	年産	価格	食味 (おいしさ)	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	製造販売事業者	販売店	その他
平成23年度	49.8	51.4	36.6	77.8	48.8	9.0	31.1	-	27.4	4.5	7.7	4.6	5.0
平成24年度	53.8	51.4	36.8	74.5	49.0	9.0	32.4	11.4	23.9	5.2	8	4.6	2.5
平成25年度	56.7	54.2	38.7	76.6	47.3	8.6	31.6	11.9	24.0	4.6	8.1	4.1	2.1
平成26年4月	55.4	55.3	34.8	76.1	48.4	8.1	31.0	12.7	24.6	5.1	7.3	4.8	2.2

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23・24・25年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 「無洗米」は平成24年度から選択肢に加えた。

3 26年4月分の有効調査世帯数は2,442。

(エ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	月末在庫数量	6.8	7.0	7.0	6.7	6.9	6.9	8.3	7.9	8.3	7.6	7.5	7.2
	平均世帯人員	2.51	2.51	2.54	2.53	2.54	2.53	2.53	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
24年度	月末在庫数量	6.1	6.1	6.3	6.2	6.1	6.5	7.3	7.2	7.4	7.1	6.8	6.8
	平均世帯人員	2.42	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
25年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.3	6.2	6.4	6.6	7.1	7.1	7.2	6.8	6.7	7.7
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
26年度	月末在庫数量	6.8											
	平均世帯人員	2.41											

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

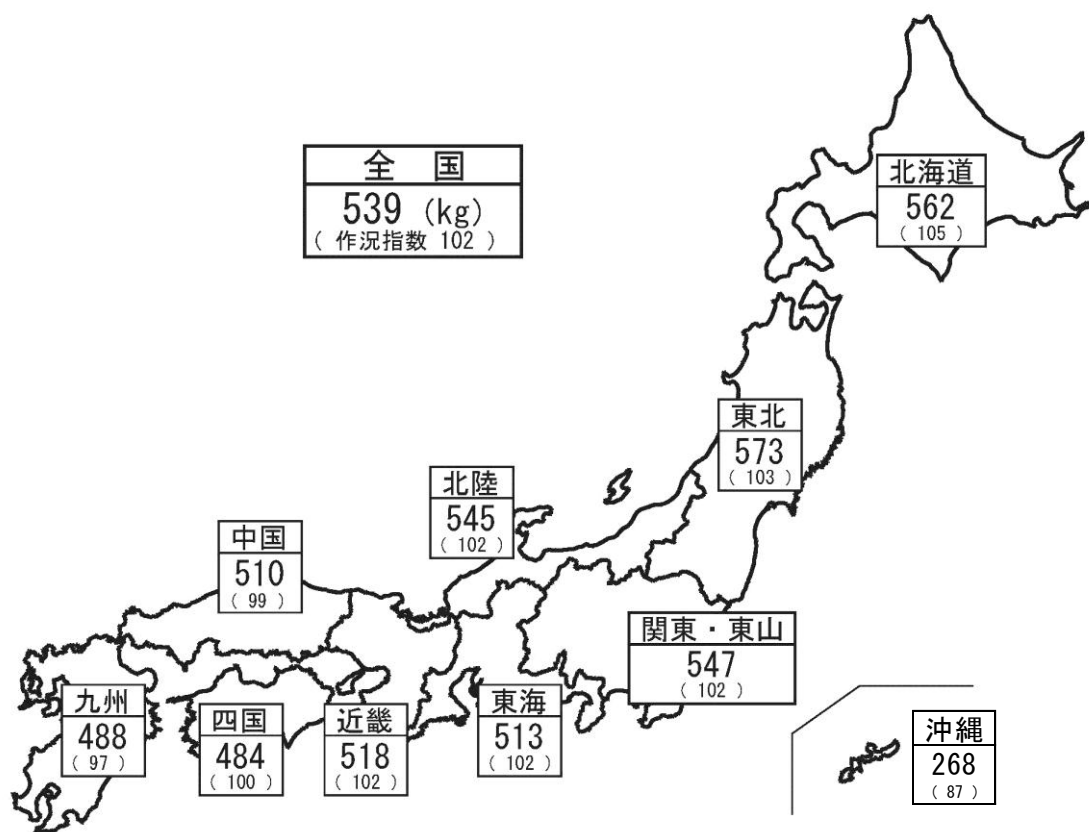
Ⅳ 生産段階の動向

(1) 平成25年産水陸稲の収穫量

【調査結果の概要】

- 1 平成25年産水稻の作柄は、全もみ数が総じてやや多いないし平年並みとなり、登熟はウンカ等病虫害の影響等があった中国、四国及び九州を除きおおむね順調に推移したことから、全国の10 a 当たり収量は539kg（作況指数102）、収穫量（子実用）は860万3,000 t（前年産対比101%）と見込まれる。
また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、818万2,000 tと見込まれる。
- 2 平成25年産陸稲の作付面積（子実用）は1,720ha（前年産対比82%）で、収穫量（子実用）は4,290 t（同118%）となった。

図 平成25年産水稻の全国農業地域別10a当たり収量



- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。
- 作付面積（子実用）とは、青刈り用等面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（子実用）から、備蓄米、加工用米、米粉用米等の作付面積を除いた面積である。

- 平成25年産水陸稲の収穫量は「農林水産統計」からの抜粋。詳しくは、下記にて御覧いただけます。
農林水産省ホーム > 組織・政策 > 統計情報 【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

【調査結果（水稻）】

- 1 平成25年産水稻の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数がやや少なかったものの、登熟が平年を上回って推移したことから、10 a 当たり収量は562kg（作況指数105）となった。

東北から近畿では、生育期間を通しておおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じて平年並みないしやや多く、登熟もおおむね順調に推移したことから、東北は10 a 当たり収量は573kg（同103）、北陸は545kg（同102）、関東・東山は547kg（同102）、東海は513kg（同102）、近畿は518kg（同102）となった。

中国から九州では、全もみ数は平年並みに確保された地域が多かったものの、ウンカ等の病虫害の被害が広範囲に発生したことや登熟期間の高温の影響等で登熟が平年を下回ったことから、中国は10 a 当たり収量は510kg（同99）、四国は484kg（同100）、九州は488kg（同97）となった。

沖縄県は、低温・日照不足、台風の影響等により268kg（同87）となった。

この結果、全国の10 a 当たり収量は539kg（同102）が見込まれる。

- 2 以上の結果、収穫量（子実用）は860万3,000 tが見込まれる。

また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は818万2,000 tが見込まれる。

表 1 平成25年産水稻の収穫量（全国農業地域別）

	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 ②	収 穫 量 (子 実 用) ③ = ① × ②	10 a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤ = ② / ④	参 考	
						主 食 用 作付面積 ⑥	収 穫 量 (主食用) ⑦ = ⑥ × ②
	ha	kg	t	kg		ha	t
全 国	1,597,000	539	8,603,000	530	102	1,522,000	8,182,000
北 海 道	112,000	562	629,400	535	105	107,000	601,300
東 北	406,200	573	2,328,000	559	103	376,000	2,153,000
北 陸	212,700	545	1,160,000	533	102	193,900	1,058,000
関東・東山	298,900	547	1,635,000	534	102	287,200	1,571,000
東 海	102,300	513	524,800	503	102	100,200	513,900
近 畿	109,400	518	567,200	509	102	106,900	554,000
中 国	115,200	510	587,600	517	99	112,900	575,600
四 国	56,400	484	273,000	484	100	55,700	269,500
九 州	183,500	488	895,700	503	97	180,900	882,900
沖 縄	890	268	2,390	309	87	890	2,390

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用等面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（子実用）から、備蓄米、加工用米、米粉用米等の作付面積を除いた面積である。

3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

表 2 平成25年産水稻の収穫量

	作付面積 (子実用) ①	10a当たり 収 量 ②	収 穫 量 (子実用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=②/④	参 考	
						主食用 作付面積 ⑥	収 穫 量 (主 食 用) ⑦=⑥×②
	ha	kg	t	kg		ha	t
全 国	1,597,000	539	8,603,000	530	102	1,522,000	8,182,000
北海道	112,000	562	629,400	535	105	107,000	601,300
青 森	49,600	610	302,600	584	104	44,600	272,100
岩 手	55,400	542	300,300	533	102	53,100	287,800
宮 城	72,200	552	398,500	530	104	70,400	388,600
秋 田	92,500	572	529,100	573	100	78,700	450,200
山 形	68,300	608	415,300	594	102	63,500	386,100
福 島	68,200	561	382,600	537	104	65,700	368,600
茨 城	75,900	542	411,400	522	104	73,600	398,900
栃 木	66,200	549	363,400	540	102	61,000	334,900
群 馬	17,600	509	89,600	494	103	16,500	84,000
埼 玉	35,400	481	170,300	490	98	34,500	165,900
千 葉	60,900	554	337,400	533	104	59,400	329,100
東 京	161	415	668	411	101	161	668
神 奈 川	3,150	495	15,600	493	100	3,150	15,600
新 潟	119,700	555	664,300	539	103	107,100	594,400
富 山	39,700	546	216,800	537	102	36,300	198,200
石 川	26,700	522	139,400	519	101	25,000	130,500
福 井	26,500	526	139,400	517	102	25,600	134,700
山 梨	5,260	551	29,000	547	101	5,210	28,700
長 野	34,400	632	217,400	623	101	33,700	213,000
岐 阜	24,700	495	122,300	488	101	24,300	120,300
静 岡	17,100	521	89,100	521	100	16,900	88,000
愛 知	30,300	519	157,300	507	102	29,500	153,100
三 重	30,200	517	156,100	500	103	29,500	152,500
滋 賀	33,400	529	176,700	518	102	32,000	169,300
京 都	15,500	530	82,200	511	104	15,300	81,100
大 阪	5,640	502	28,300	495	101	5,630	28,300
兵 庫	38,400	506	194,300	504	100	37,500	189,800
奈 良	9,190	527	48,400	513	103	9,150	48,200
和 歌 山	7,380	506	37,300	495	102	7,380	37,300
鳥 取	14,100	519	73,200	514	101	13,800	71,600
島 根	19,100	514	98,200	509	101	18,800	96,600
岡 山	33,100	512	169,500	526	97	32,000	163,800
広 島	26,000	520	135,200	523	99	25,500	132,600
山 口	22,900	487	111,500	504	97	22,800	111,000
徳 島	13,400	487	65,300	474	103	13,100	63,800
早期栽培	5,290	468	24,800	463	101	...	...
普通栽培	8,130	499	40,600	480	104	...	...
香 川	14,700	503	73,900	499	101	14,500	72,900
愛 媛	15,300	493	75,400	498	99	15,200	74,900
高 知	13,000	449	58,400	460	98	12,900	57,900
早期栽培	7,650	473	36,200	481	98	...	...
普通栽培	5,360	414	22,200	430	96	...	...
福 岡	38,700	479	185,400	499	96	38,100	182,500
佐 賀	26,700	489	130,600	525	93	26,400	129,100
長 崎	13,500	468	63,200	478	98	13,500	63,200
熊 本	38,400	502	192,800	515	97	37,500	188,300
大 分	23,800	484	115,200	503	96	23,700	114,700
宮 崎	18,900	495	93,600	497	100	18,700	92,600
早期栽培	8,000	476	38,100	480	99	...	...
普通栽培	10,900	509	55,500	511	100	...	...
鹿 児 島	23,500	489	114,900	483	101	23,000	112,500
早期栽培	5,490	461	25,300	443	104	...	...
普通栽培	18,000	497	89,500	495	100	...	...
沖 縄	890	268	2,390	309	87	890	2,390
第一期稲	596	332	1,980	370	90	...	...
第二期稲	294	137	403	180	76	...	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用等面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（子実用）から、備蓄米、加工用米、米粉用米等の作付面積を除いた面積である。

3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

(2) 国産米(水稻)の作況・収穫量

年産	作付面積 (子実用) ha	10a当たり 収 量 kg	収 穫 量 (子実用) t	(参考)				作況 指数
				主 食 用 作付面積 ha	収 穫 量 (主食用) t	10a当たり 平年収量 kg	生産数量 目標 t	
18	1,684,000	507	8,546,000	...	...	529	8,330,000	96
19	1,669,000	522	8,705,000	...	...	529	8,280,000	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	8,150,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	8,150,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	8,130,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	7,950,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	530	7,930,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	530	7,910,000	102

出典： 農林水産省統計部「統計情報」
注： 1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積である。
3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示す。

(3) 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量(子実用)及び10a当たり収量

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45％）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。

① ふるい目幅別重量分布状況

単位：％

区 分 年 産	合 計	ふるい目幅別重量割合					
		2.00mm 以 上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
17年産	100.0	71.2	20.5	3.6	2.3	1.4	1.0
18年産	100.0	72.9	19.2	3.5	2.2	1.3	0.9
19年産	100.0	75.5	17.9	3.0	1.8	1.1	0.7
20年産	100.0	76.2	16.5	3.0	2.1	1.3	0.9
21年産	100.0	75.2	17.4	3.2	2.1	1.3	0.8
22年産	100.0	81.3	13.2	2.3	1.6	1.0	0.6
23年産	100.0	75.8	16.6	3.1	2.2	1.4	0.9
24年産	100.0	81.7	13.0	2.2	1.5	1.0	0.6
25年産	100.0	78.8	14.5	2.7	1.9	1.3	0.8

資料： 農林水産省統計部「統計情報」
注： 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

② 選別ふるい目幅別収穫量(子実用)及び10a当たり収量

単位：kg（10a当たり収量）、トン（収穫量）

年産	区 分	選別ふるい目幅別収穫量及び10 a 当たり収量					
		1. 70mm 選別					
			1. 75mm 選別	1. 80mm 選別	1. 85mm 選別	1. 90mm 選別	2. 00mm 選別
17年産	10 a 当たり収量	532	527	519	507	488	379
18年産		507	502	496	485	467	370
19年産		522	518	513	503	488	394
20年産		543	538	531	520	503	414
21年産		522	518	511	500	483	393
22年産		522	519	514	505	493	424
23年産		533	528	521	509	492	404
24年産	10 a 当たり収量	540	537	531	523	511	441
	収 穫 量	8, 519, 000	8, 468, 000	8, 383, 000	8, 255, 000	8, 067, 000	6, 960, 000
25年産	10 a 当たり収量	539	535	528	517	503	425
	収 穫 量	8, 603, 000	8, 534, 000	8, 422, 000	8, 259, 000	8, 027, 000	6, 779, 000

資料： 農林水産省統計部「統計情報」

注：1 選別ふるい目幅別の収穫量とは、全国の予想収穫量に選別ふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 選別ふるい目幅別の10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことである。

3 ふるい目幅別の収穫量については、平成24年産より集計・公表を行っている。

(4) 加工用米及び新規需要米の取組状況

① 加工用米の生産量

(単位:トン)

	うるち米	もち米	合計	全国流通	地域流通
平成16年産	117,837	4,404	122,241	121,719	522
17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	179,737	29,769	209,506	83,466	126,040

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 平成24年産までは「米穀の需給調整実施要領」の規定により報告された生産集出荷数量。平成25年産は、取組計画の認定を受けた生産予定数量（平成25年10月15日現在）。

2 全国流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が全国生産出荷団体であるものの合計値。

3 地域流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計値。

4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

② 新規需要米の用途別認定状況

(単位:トン、ha)

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産		平成24年産		平成25年産	
	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324	34,521	6,437	21,071	3,965
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955	183,431	34,525	115,350	21,802
WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	—	9,089	—	10,203	—	15,939	—	23,086	—	25,672	—	26,600
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415	2,793	450	2,594	414
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287	2,524	454	2,825	507
その他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501	857	553	659	457
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569	224,127	68,091	142,499	53,744

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」

注：1 WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため計画生産量はなし。

2 平成25年産は、需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成25年10月15日現在の値。

3 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

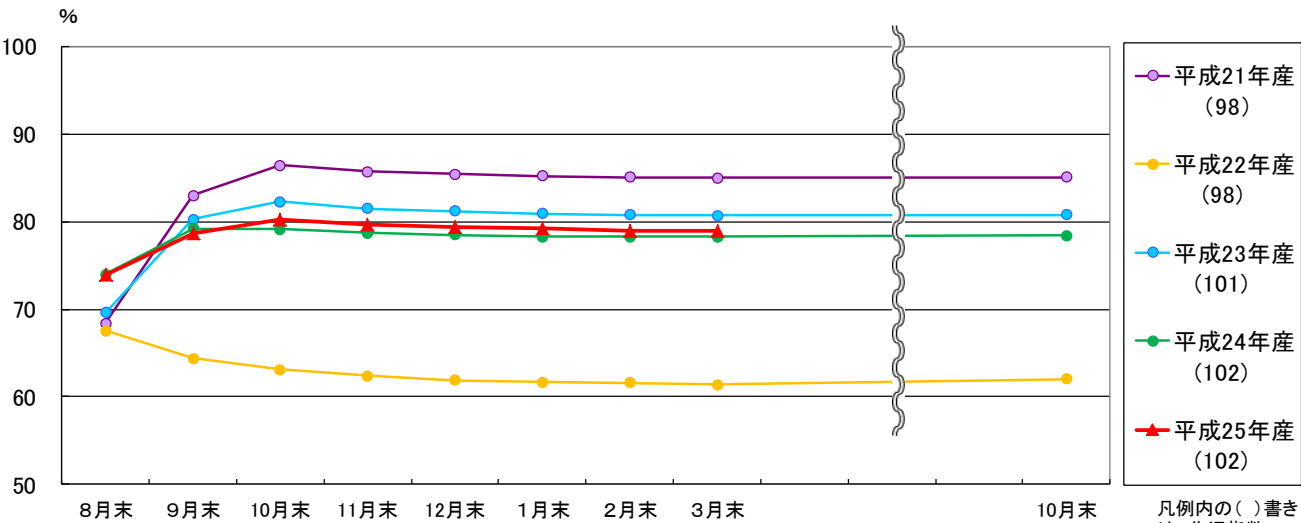
(5) 水稻うるち玄米の検査結果

① 検査数量及び等級比率(年産別) (単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,043,188	3,955,677	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25 ※	4,792,717	3,785,299	848,018	88,504	70,896	79.0	17.7	1.8	1.5

資料： 農林水産省とりまとめ
注： 1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。
2 ※の25年産については、平成26年3月31日現在（速報値）。

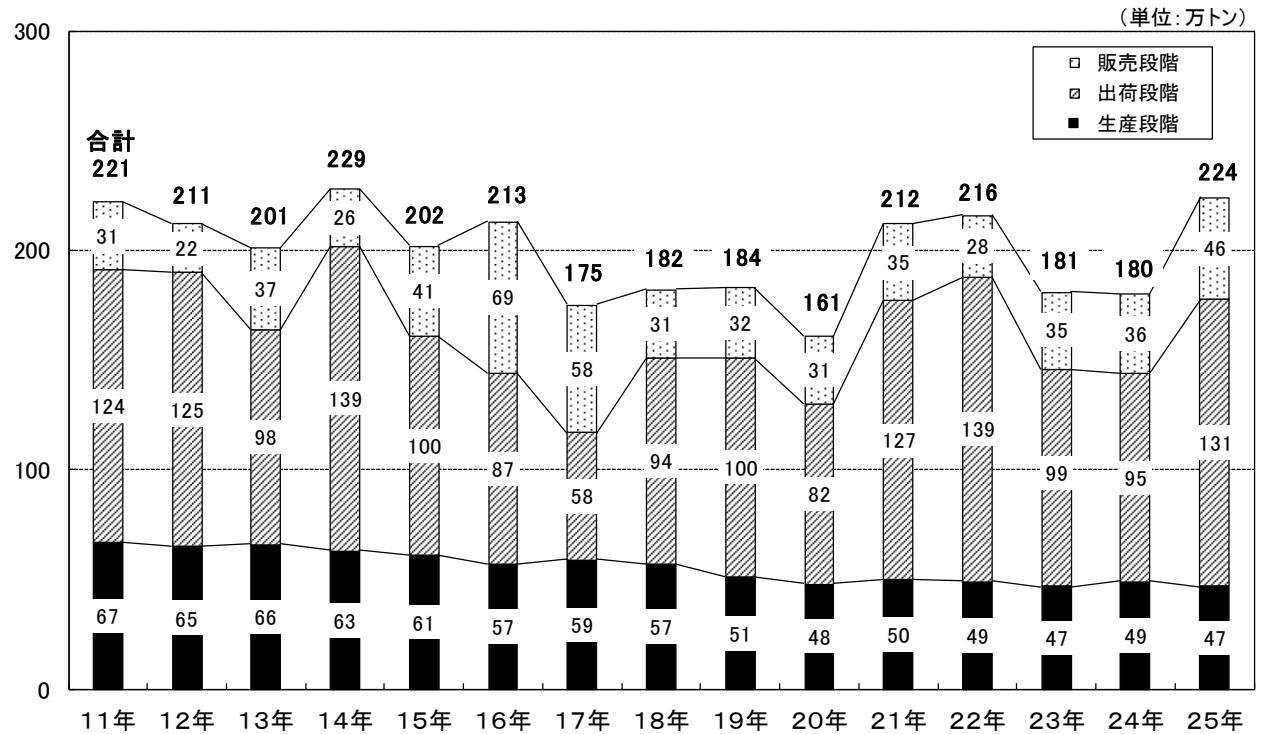
② 水稻うるち玄米の1等比率の推移



資料： 農林水産省とりまとめ
注： 1 「1等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。
2 23年産からの1等比率については、4月以降の変動が軽微なため、生産年の翌年4～9月末時点の公表は行っていない。

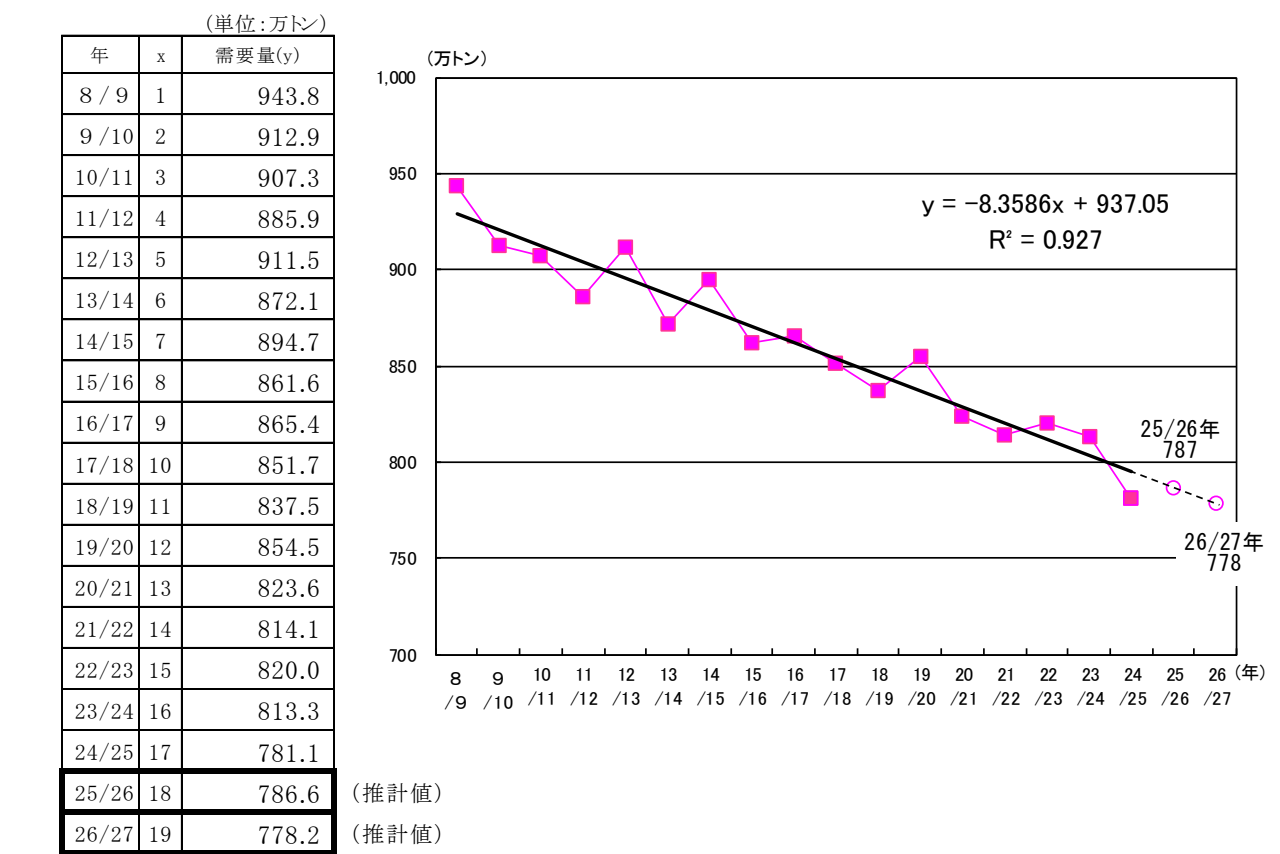
V 主食用米等の需給見通し（平成25年11月の米の基本指針（平成25年11月28日））

(1) 民間流通における6月末在庫の推移



注: 1 うるち玄米及びもち玄米の値である。
2 各年の民間在庫量において、
① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。
② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。
なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。
3 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 主食用米等の需要実績の推移



(3) 平成25年7月から平成26年6月の主食用米等の需給見通し(推計)

表 平成25/26年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

		主食用米等
平成25年 6 月末民間在庫量	A	224
平成25年産主食用米等生産量	B	818
平成25/26年主食用米等供給量計	C = A + B	1,042
平成25/26年主食用米等需要量	D	787
平成26年 6 月末民間在庫量	E = C - D	255

※ 平成25/26年においては、需給事情から見て、販売の見込みが立たなくなった主食用米が、需要が期待できる加工用、飼料用等に販売されることが想定される。

注:「25/26年」とは、平成25年7月から平成26年6月までの1年間。

(4) 平成26年産米の生産数量目標(全国)

表 直近7年の生産数量目標の推移

(単位:万トン)

年産	20	21	22	23	24	25	26
生産数量目標	815	815	813	795	793	791	765
前年比	▲ 13	±0	▲ 2	▲ 18	▲ 2	▲ 2	▲ 26

【参 考】

米穀の需給に関する詳細は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に掲載しています。

(<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/130726/index.html>)

農林水産省ホーム > 組織・政策 > 審議会 > 食料・農業・農村政策審議会 > 食糧部会 > 食料・農業・農村政策審議会食糧部会 資料 (26年3月26日開催)

Ⅵ 備蓄米及びMA米の動向

(1) 国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量

① 平成26年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果						
		落札数量						落札数量計
		第1回 平成26年 1月28日実施	第2回 平成26年 2月12日実施	第3回 平成26年 2月25日実施	第4回 平成26年 3月11日実施	第5回 平成26年 3月25日実施	第6回 平成26年 4月22日実施	
北海道	14,080	1,010	13,070	0	0	0		14,080
青森	20,450	20,450	0	0	0	0		20,450
岩手	8,000	8,000	0	0	0	0		8,000
宮城	11,000	11,000	0	0	0	0		11,000
秋田	25,500	25,500	0	0	0	0		25,500
山形	13,530	13,530	0	0	0	0		13,530
福島	20,000	20,000	0	0	0	0		20,000
茨城	1,480	425	971	84	0	0		1,480
栃木	11,170	11,170	0	0	0	0		11,170
群馬								
埼玉	640	640	0	0	0	0		640
千葉	2,830	410	2,380	40	0	0		2,830
東京								
神奈川								
新潟	32,400	32,400	0	0	0	0		32,400
富山	12,840	153	12,687	0	0	0		12,840
石川	4,020	4,020	0	0	0	0		4,020
福井	640	640	0	0	0	0		640
山梨								
長野	770	770	0	0	0	0		770
岐阜	740	0	740	0	0	0		740
静岡	100	0	73	27	0	0		100
愛知	1,810	0	600	0	780	0		1,380
三重	810	0	810	0	0	0		810
滋賀	1,600	1,600	0	0	0	0		1,600
京都								
大阪								
兵庫	560	286	149	0	0	0		435
奈良	30	0	0	0	0	0		0
和歌山								
鳥取	1,320	0	1,320	0	0	0		1,320
島根	100	0	100	0	0	0		100
岡山	3,170	485	2,685	0	0	0		3,170
広島	1,010	12	0	998	0	0		1,010
山口	340	0	0	340	0	0		340
徳島	1,520	303	780	395	36	6		1,520
香川	530	0	0	530	0	0		530
愛媛	340	0	340	0	0	0		340
高知	80	0	0	0	28	40		68
福岡	460	0	364	20	0	2		386
佐賀	830	0	0	830	0	0		830
長崎	80	0	20	0	0	0		20
熊本	590	0	590	0	0	0		590
大分	240	0	240	0	0	0		240
宮崎								
鹿児島								
沖縄								
都道府県別枠計	195,610	152,804	37,919	3,264	844	48		194,879
指定なし	54,390	36,493	17,887	10	0	0	731	55,121
合計	250,000	189,297	55,806	3,274	844	48	731	250,000

② 平成23～25年産備蓄米の政府買入入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	23年産 県別 優先枠	23年産 落札 数量	24年産 県別 優先枠	24年産 落札 数量	25年産 県別 優先枠	25年産 落札 数量
北海道	7,000	7,000	7,860	5,768	21,000	14,058
青森			2,400	2,388	21,000	20,028
岩手	6,700	5,683	5,680	5,149	10,000	7,600
宮城	5,900	0	5,700	3,952	10,000	7,428
秋田	11,300	11,274	13,230	9,595	30,000	25,411
山形	3,900	3,900	7,690	7,690	12,500	12,500
福島			1,320	52	40,000	11,074
茨城			90	90	3,000	1,478
栃木			2,500	1,848	14,730	11,163
群馬						
埼玉					600	600
千葉			100	99	5,000	2,650
東京	100	0				
神奈川						
新潟			10,120	9,614	31,000	30,948
富山	6,200	6,200	7,920	7,920	13,000	12,831
石川			1,120	810	4,000	4,000
福井			2,430	1,300	1,300	632
山梨						
長野			100	93	2,000	758
岐阜					1,500	735
静岡					1,200	62
愛知					2,000	1,803
三重			700	699	860	807
滋賀	1,200	0			3,000	1,572
京都					400	
大阪						
兵庫					1,200	554
奈良					530	30
和歌山						
鳥取					1,320	1,320
島根					250	95
岡山			180	150	3,100	2,974
広島	2,100	1,017	1,020	603	1,560	1,002
山口	5,100	3,003	3,000	785	3,000	336
徳島					2,000	1,443
香川	1,300	585	590	0	500	500
愛媛	1,000	422	420	345	1,000	336
高知					110	76
福岡	1,300	120	120	120	1,300	454
佐賀	5,700	188	190	190	900	830
長崎					80	80
熊本	500	0	60	0	1,000	583
大分	300	0			240	240
宮崎	500	0				
鹿児島	700	0				
沖縄						
都道府県別枠計		39,392		59,260		178,991
指定なし		28,246		24,130		4,101
合計		67,638		83,390		183,092

注：平成23年産県別優先枠のうち、宮城の5,900トンについては、震災により契約解除となっている。

③ 国内産備蓄米の売渡数量

最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況

（単位：千トン）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
19/20年	17	24	20	21	20	7	0	1	0	1	0	6	117
20/21年	26	34	15	14	16	17	13	13	13	14	10	11	196
21/22年	6	4	4	3	3	2	1	2	2	1	2	1	31
22/23年	1	1	1	0	0	0	0	0	—	—	—	—	3
23/24年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：農林水産省「最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況」

注：1 期間については、22/23年であれば、平成22年7月～23年6月である。

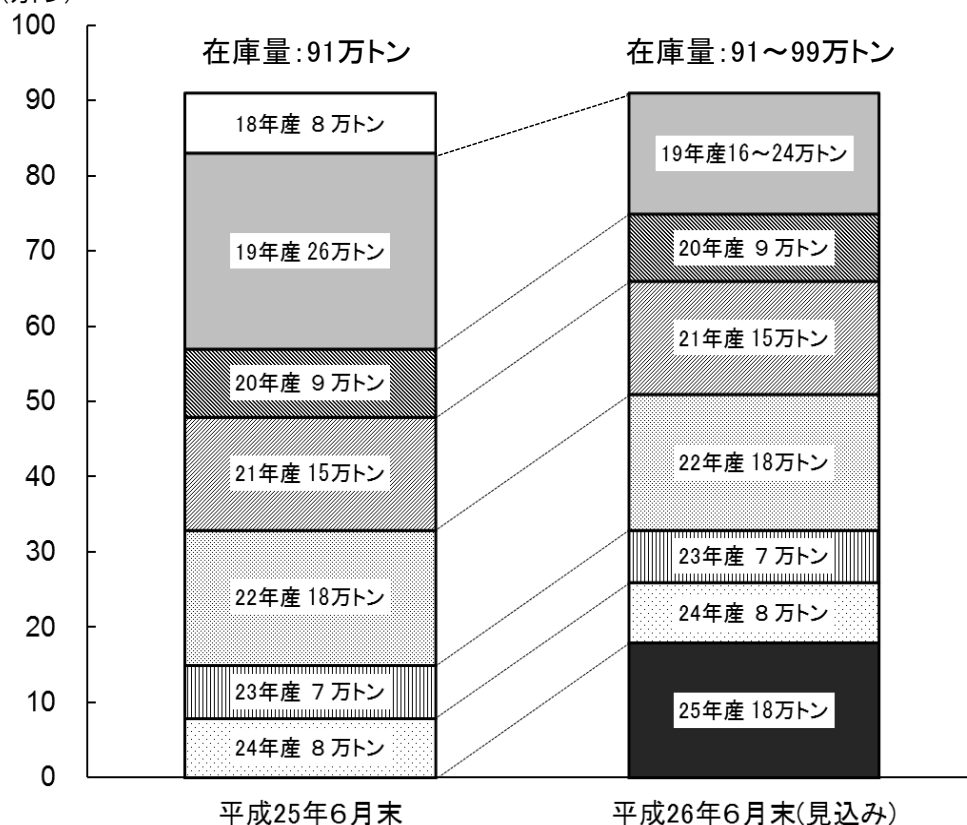
2 販売数量は実際に卸売業者等が引き取った実績であり、契約数量とは異なる。（平成23年2月まで）

3 19/20年の11月・12月については緊急対策による販売停止以前に契約された分の引取数量であり、1～5月については矯正施設向けに販売し、引き取られた数量である。

4 平成23年1月をもって、政府所有国内産米穀（主食用）の販売入札（2月引取分まで）を終了している。

④ 政府備蓄米の在庫状況

（万トン）



資料：農林水産省調べ

注：1 うるち玄米の数量である。

2 保有期間が5年を超える米の品質確認を行い、10～18万トンの範囲内で非主食用に販売することとしている。

(2) MA米（一般・SBS）の動向

① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
米国	19	23	29	32	34	36	36	36	36
タイ	11	14	15	15	16	17	15	15	15
中国	3	4	5	8	9	10	14	11	11
オーストラリア	9	9	9	11	11	12	11	10	9
その他	1	1	2	2	2	2	1	5	5
合計	43	51	60	68	72	77	77	77	76
（うち一般輸入）	42	49	54	55	59	63	66	71	65
（うちSBS輸入）※	1	2	6	12	12	12	10	5	10

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
米国	36	36	36	36	43	36	36	36	36
タイ	19	19	18	25	27	33	35	24	28
中国	10	9	8	8	7	7	2	6	5
オーストラリア	2	2	5	－	－	－	4	7	6
その他	10	11	10	1	0	1	0	4	1
合計	77	77	77	70	77	77	77	77	77
（うち一般輸入）	66	66	66	59	66	66	72	66	66
（うちSBS輸入）※	9	10	10	10	10	10	4	10	10

	平成25年度
米国	36
タイ	35
中国	0
オーストラリア	4
その他	1
合計	77
（うち一般輸入）	70
（うちSBS輸入）※	6

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」
※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注： 1 各年度の輸入契約数量の推移。
2 ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。
3 実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成25年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成25年4～6月分	29,700	平成25年4～7月分	2,685
4月分	860	平成25年8～11月分	3,092
5月分	1,373	平成25年12～平成26年3月分	3,294
6月分	1,643		
7～9月分	32,028		
7月分	816		
8月分	1,219		
9月分	2,421		
10～12月分	30,951		
10月分	522		
11月分	994		
12月分	1,312		
平成26年1～3月分	29,878		
1月分	833		
2月分	731		
3月分	869		
小計	136,150	小計	9,071
合計	145,221		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS輸入米の見積合わせ結果(平成25年度)

(単位：トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成25年9月25日)	一般米	2,722	936	548	72	94	0	1,230	0	5,602
	砕精米	0	180	300	108	216	0	1,696	0	2,500
第2回 (平成25年10月22日)	一般米	1,586	1,104	1,038	72	40	0	427	0	4,267
	砕精米	108	0	700	100	0	0	1,592	0	2,500
第3回 (平成25年12月4日)	一般米	1,799	538	480	0	0	0	4,626	0	7,443
	砕精米	0	208	760	100	216	0	1,216	0	2,500
第4回 (平成26年1月15日)	一般米	6,889	1,126	1,160	0	40	0	5,599	0	14,814
	砕精米	0	0	2,000	0	0	0	3,000	0	5,000
第5回 (平成26年2月13日)	一般米	1,156	656	120	0	0	0	4,541	0	6,473
	砕精米	468	0	1,515	0	108	0	2,909	0	5,000
第6回 (平成26年2月28日)	一般米	322	0	0	0	0	0	1,536	0	1,858
	砕精米	0	0	1,300	0	0	0	500	0	1,800
第7回 (平成26年3月11日)	一般米	212	36	0	0	0	0	34	0	282
	砕精米	0	0	800	0	0	0	0	0	800
合計	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～25年度